

広報・教育部門

キャリア教育を意識した夏季連携講座※「下水道マニア」

神奈川県立大師高等学校、川崎市、下水道広報プラットフォーム、管路情報活用有限責任事業組合、メタウォーター株式会社



【講義の様子】

身近な内容から専門的な内容まで幅広く講義し、生徒は真剣な眼差しで聞き入っていました。



【大型ポンプ試運転】

普段見られない施設の見学や体験では、「お〜」「すごい」と何度も驚きの声が上がりました。



【ディスカッション】

テーマ「見えない下水道を市民にどう伝えるか」様々なアイデアに驚かされました。

4日間下水道漬けの講座内容

日時	講座内容
平成27年	午前 ○授業「マンホール蓋の魅力」
8月4日	午後 ○県立大師高校から多摩川までマンホールを観察 ○多摩川で河川の水の採水・生物観察
	8月5日
8月6日	午前 ○流した学校の下水を歩いて追いかける ○観音川雨水滞水池・観音川ポンプ場での試運転体験
	午後 ○入江崎水処理センターの施設見学 ○微生物の観察、簡易水質試験による水質試験体験
8月7日	午前 ○3班に分かれてグループディスカッション・発表
	午後 テーマ「見えない下水道を市民にどう伝えるか」

PRポイント！

全国でも例を見ない、**高校生を対象としてキャリア教育を意識した下水道に関する4日間連続講座**を行いました。毎日下水道漬けでしたが、**生徒たちは笑顔や驚きを見せながら、楽しく受講**していました。**親しみやすい講座の構成や飽きない工夫をしたことが成功のポイント**と思います。

【成果】・4日間下水道漬けで、生徒たちは下水道マニアになりました。

- ・施設見学や職場体験などの**実体験**をとおして、下水道の重要性や魅力が発信できました。
- ・環境教育、キャリア教育を意識した下水道漬けの講座により、**環境への意識向上や、進路選択の視野を広げることに貢献**ができました。

Key Person



神奈川県立大師高等学校
(現 舞岡高等学校) 教諭
松井 浩気

下水道を核とした環境教育として、講座発案を行いました。川崎市をはじめ多くの専門家の方々にキャリア教育の側面も取り入れて、関係者全員が高校生に分かり易く、目標達成が進むよう、沢山の案が出ては精選し質の高い講座となりました。

現在、神奈川県では、県立高校改革実施計画が示され(H28.1月)学習機会拡大として、県立高校生学習活動コンソーシアムの形成が重点目標に示されました。

学校の外に、教育機会と力を求め高い目標の達成が図れ、関係者間の信頼関係が築けたこと、教育に真剣にあたっていただいたことが成功の大きな要因であり、評価を頂いた点と思っています。始まったばかりの講座です。講座の継続と今後の受講生の増加などを通して、下水道の歴史と技術の素晴らしさを知る人々が増えていくこと、受講生が未来のキーストーンとなっていくことを期待しています。

※「夏季連携講座」とは、神奈川県の総合学科を有する高等学校の生徒を対象に、広く専門的な学びの場を提供することを目的として行う講座です。